

100

つなぐ「奉仕の心」これからも

2024年向陽高等学校創立100周年



風に向かって

学校法人向陽学園  
歴史編集室発行  
TEL0957(52)3210

剣道女子も九州大会出場だ〜!

# 地道な努力と学びを継続!!



県新人3位



コロナ禍で教育活動にいろいろな制限がある中、向陽学園の学生、生徒は自己実現に向けて「文武両道」に努力しています。そして、着実に成果を出しています。これからも建学の精神「奉仕」の基、一步一步目標に向かって前進して欲しいと思います。



## ソフトボール部 九州大会3位



県新人準優勝

## 【パティシエ科】PA

### 「幸せと笑顔を届けるパティシエに」

パティシエ科全員を対象に鎧塚俊彦先生による特別講話「一流パティシエの創作現場に学ぶ」が東京からリモートで行われました。生徒の質問にも丁寧に答えていただきました。



## いま「高校」では!

### ※県高校新人大会結果

- テニス女子 団体:ベスト8  
個人:宮崎・野口組ベスト8
- ソフトボール 準優勝
- 剣道女子 団体:3位  
個人:吉武由美、石山純花  
ベスト16、(男)本多凌也 3回戦
- バドミントン女子  
個人:伊藤・酒井組 2回戦  
個人:伊藤夏 1回戦
- バドミントン男子 団体:1回戦  
個人:前川絆 1回戦

## 大好評「金曜日の放課後」 第5弾! 最終回公開中



## 【看護科】

### KA「たしかな学びで心豊かな看護の道を」

2年次になって初めての「基礎看護臨地実習」を6日間行いました。校内看護実習となりましたが、多くの学びを得ることができました。



## 【調理科】CH「こころをこめて料理を作りたい」

「すし発表会」調理科では2年次に「すし」と「西洋料理」を学んでいます。講師である勢戸先生(ちとせ鮎経営)の丁寧なご指導により、高校生とは思えないほどの腕前に成長しました。



## インターアクトクラブ 伝統の継承だワン!

学校周辺や校門付近を中心に朝から清掃活動をしました。これからも「奉仕の心」を大切に、先輩方が繋いでこられた伝統を守り、ボランティア活動に励みたいと思います。



## 【エステティック科】

### ET「キレイを学びプロの技を極めたい」

1年生の授業「フェイシャル実技」では、ICTを利用した講師の先生の細かい手の動きを見て学び、技術を磨きマスターしていきます。



## 長崎リハビリテーション学院

「挑戦と変化」で次代の人材を育てる！

「チーム医療を現場さながらに学べます」



言語療法学科では9月30日に、2・3年生を対象に「**笑顔の授業**」が行われました。講師は池田博之氏

(東京海上日動の東海・北陸業務支援部担当次長 兼 人事企画部人権啓発・ダイバーシティ推進室参事)

と言語聴覚士の伊藤梓先生、森田秋子先生です。名古屋と長崎をオンラインで繋いでの講義でした。失語症は脳の言葉を司る部位が損傷を受け、聴いて理解すること、話すこと、読むこと、書くことが難しくなる病気です。

池田氏は約5年前に失語症を発症され、懸命なリハビリの結果東京海上日動に復帰された方です。「笑顔の授業」では自らの体験をもとに、リハビリのこと、現在のお仕事のことなど分かりやすく教えてくださいました。

また、森田先生、伊藤先生からも言語聴覚士としての臨床現場の生の声をお聞きすることができました。



## 医療の壁

理事長 鳥山 英也

昭和56年、理学療法士の養成校である長崎リハビリテーション学院を開設した。開設にあたりアメリカの理学療法士の模様を視察した。「理学療法と言語療法とどちらが大切か」と聞いたなら「どちらも同じくらい大切だ」との答えが返ってきた。日本では、医療職としての言語療法は未だ法制化されていない現状である。(中略)東京都立松沢病院長、秋元先生は「失語症との闘い」の序文の中で「言葉は思想の道具であるが、時にはそれは思想そのものである。考えるとおり喋れないから考えられない。それくらい言葉は私たちの生活と切り離せない大切な機能である。」と云っている。

私自身、十数年前くも膜下出血で倒れ、数時間意識を失った。意識がおぼろげながら回復し始めた時、周りの者の話が聞こえるので、何とか言おうと思っても言葉が見つからない。その時、何か漠然とした絶望感が脳裏を走ったような記憶がある。

今度、向陽学園では、長崎病理学研究所を開設し、所長としてシャーリン・イーリング氏にアメリカから赴任してもらった。ここで7月から言語障害研修講座を開講した。言語に障害を持つ人達にさしのべる小さな救いの手になれば幸いである。専攻科の諸君も、将来こうした人達と共にチームを組んで患者さんのために働いてほしい。

昭和59年8月1日 ときわだい第5号より一部抜粋

(衛生看護専攻科後援会発行)



<シリーズ>2024年「向陽高等学校創立100周年」へ向けて「**建学の精神**」の実践だワン!

### 「全校清掃」奉仕活動

生徒会が中心になり、100周年へ向けた行事の一環として全校清掃に取り組みました。学校の周辺および通学路のごみ拾いや清掃を行いました。今後も向陽高等学校建学の精神「奉仕」を実践していきます。



### 卒業生から嬉しい便り

★昭和51年(1981年) 向陽高等学校 保育科卒業

おかげさまで今でも保育士を続けています。

★昭和36年(1961年) 向陽高等学校 被服科卒業

おめでとうございます。私の人生にとって向陽は誇りと感謝です。ありがとうございました。

★昭和17年(1942年) 大村女子職業学校 師範科卒業 西山 一枝(旧姓 松尾)さん

私は、大村女子職業学校に在学中「鳥山武」先生(本学園初代理事長)からご教授を受け、とても多くのことを教わりました。また、寄宿舎では遠方からお見えの方々と楽しく過ごし、武先生やヒテコ先生には大変お世話になりました。本当にとても懐かしい思い出です。師範科卒業後は青年学校へ赴任をし、家庭科の指導をいたしました。現在はお世話になっている施設にて、鳥山ヒテコ先生(初代理事長の奥様)や鳥山昇さん(松浦病院理事長、英也第2代理事長の弟さん)にもお会いする機会があり、楽しくお話をすることができてとても嬉しかったです。今は、毎日体操やゴルフなどをして元気に楽しく過ごしています。

学園の更なるご発展をお祈り申し上げます。



(S25年頃~セーラー服)

卒業生の皆さま  
「ご寄付ありがとうございました」!

